

字の区域変更

変更される字名と区域

一枚田	7の7～8
10の2	10の9
10の21	10の25～28
17の3	17の6
18の3～4	18の12～13
変更後の字名	関



問 菅原研治議員

変更される区域に担い手住宅と世代間交流住宅が建設予定だが、番地はどのように区分けするのか。

答 農林建設課長

番地は字関の一番最後から番地がつき、世代間交流住宅と担い手住宅にそれぞれ振り分けていく。



平成28年度賑わい拠点施設敷地造成工事 （南側エリア工事）請負契約の締結

契約の相手方

ヤマザキ建設株式会社
七ヶ宿営業所

契約の方法 指名競争入札
契約金額 7236万円

問 武藏重幸議員

北側エリアと南側エリアの入札を分けた理由は。

答 ふるさと振興課長

南側エリアに建設するミニスーパーのオープン予定が平成29年4月であるため、工期の関係で分けた。

問 武藏重幸議員

南側の工期と北と南それぞれの盛り土の搬入量は。

答 ふるさと振興課長

工期は平成29年3月22日。盛り土量は南側が2580³m、北側が2340³m。

問 村上満議員

北と南の落札率は。

答 ふるさと振興課長

南側が98.38%。北側が98.2%。

問 村上満議員

平成22年、県の契約課より七ヶ宿町の入札契約制度について透明性、公正性、競争性、不正行為の排除、開かれた入札、予定価格の事前公表、入札辞退者の下請け禁止、入札談合行為の排除、一般競争入札を基本とすること等の指導を受けたが、どれほど履行しているか。また、同時に実施した南と北の入札の指名業者は同じか。6月から8月までに入札執行している件数とヤマザキ建設が落札した件数は。

答 町長

指導については地方自治法に則っている。入札の業者は南と北で同じである。

答 副町長

入札は18件行い1件の不落により実質17件の契約となっている。ヤマザキ建設の落札は8件。金額は2億1400万円ほどである。

問 村上満議員

県の指導者によると、七ヶ宿町の入札状況は一般競争入札であれば県の補助金を受けながらどこからでも参加できる。しかし、指名入札は県外発注が多いとのことである。入札というものは地元の経済が潤うような入札を進めることも議会の役割であるというふうにいわれているが、入札のあり方についてどう改善されているのか。

答 町長

公共事業が地元プラスになる効果をもたらすのは当然と理解しているので今後ともその考え方を踏襲していきたい。ヤマザキ建設については本町に事務所があり、入札資格についても宮城県として入札に参加をしている。そういった観点から今後とも地元の雇用等に積極的に協力をしていただけのもと考えている。

討論

反対

村上満議員

議会が所管事務調査報告をしていることに対して理解がされていない。また、質疑の中でも十分な理解がでない部分もあることから反対する。

賛成

梅津政志議員

今回の賑わい拠点施設敷地造成工事請負契約の入札に関して、公平かつ透明なルールに基づいた指名競争入札が行われ、工事受注者が決定したものと判断し、賛成する。

反対

吉田修議員

指名競争入札といえども1業者だけが独占しているように思われることから、入札競争の原理が機能されていないように思われ、よって反対する。

賛成

小林喜一郎議員

ただいま行われた質疑によって理解したので賛成する。